

その夜、
団長の部屋にて――



堕天司からの誘い
きやんたマン



はえ?! ベベベリアル?!
なんで?! 次元の狭間は?!
いつからここに?!
どどどどこから見てた?!

ウフフ…
いつからかなあ?
どうだつていいだろ、
そんなこと。

男なんだな♡
夜にいそいそと
一人で性欲処理なんてね。

オレが写っている
ようだが… フフ、
オレのことをオカズに
してくれたのかな?
熱心にオレの名前を
呼んでいたな?
顔にかけるぞつてな笑

おつと…
この写真は—

あつあつ
そ、それは…
あの…
し

ウフフ：嬉しいこと
してくれるじゃないか…♡
そんなカワイイことされたら
オレも身体が疼いちまう♡

いつもよりもっと
キモチイライ
オナニーにしたいと
思わないかい?

もつとイイ責めかた
つていうのがあるんだ：
オレが教えてやるよ…
♡

マジで?!
そ、そんな
今までオカズにしてた
妄想みたいなこと…!

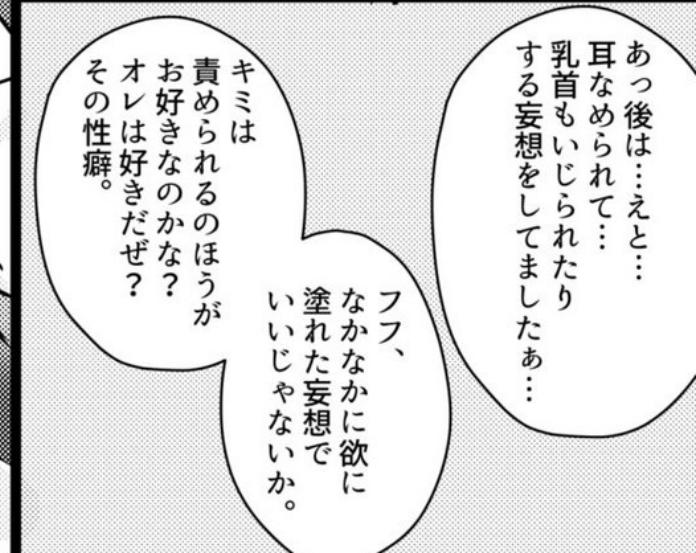
オレのことをオカズに
オナニーするのはいい
センスだが：

は、はい…
スミマセン
オカズに
しました：

はー…
じー
ゼー

ゼー

オレにこうされる
想像をして
一人で毎晩
慰めていたのかな？



キミは力任せに
竿を擦りすぎている。



べ、ベリアルの綺麗な
指が俺のちんばを...!!

確かにそれでも
達することは
できるが...



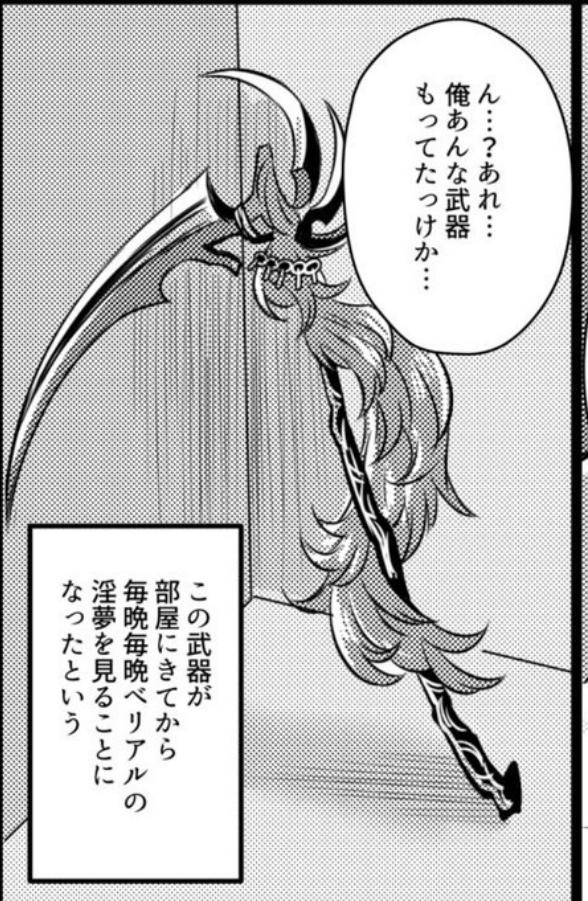








オヤスミ、
特異点。



この武器が
部屋にきてから
毎晩毎晩ベリアルの
淫夢を見る
ことに
なつたとい
う

